

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号 367

| | | | |
|-----------|------|-------------------|---------------------------------|
| 発生場所 | 外来 | 精神・意識障害の有無 無 | リスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク |
| 発生場所（その他） | | | |
| 関連したもの | 給湯設備 | 発生内容の分類 その他、火傷 | |

発生内容

設備

概要

温水用配管から湯が小児科待合室に漏れた。（さいわい患者はいなかった）

要因

古い棟であり、配管が老朽化していた。施工当時に、本来使用すべき「さびない素材」ではなく、さびる素材が使用されていたため、配管内がさび、もろくなっていた。

対策

配管工事・・・リニューアルでは取り壊す予定の棟。この棟はその他にも雨漏りやエレベーターが停止する、漏電など、老朽化による影響が出ている

参照

